

関川教育構想 2018

—ふるさと関川を愛し、誇り、発展させるひとづくり—

関川村教育委員会

関川村が他市町村と合併せず、「小さくてもキラリと光る関川村」を目指し自立の道を歩み始めて15年が経過した。しかし、少子高齢化や若者の村外流出による人口減少が続いている。この関川村を持続可能な社会にするためには、雇用の拡大や産業振興はもちろんだが、次代を担う青少年のふるさとを愛し誇りに思う心を育て、村を発展させる力を育成しなければならない。村の存亡は教育に掛かっていると言っても過言ではない。

関川村は日本6・3・3制発祥の地であり、豊かな歴史や文化、人情、美しい自然がある。このふるさと関川の良さを知り、新たな良さを創ったり発信したりする「持続可能な社会づくりの担い手を育む教育」を行い、ふるさと関川を愛し誇りに思う心を育てる。

感動体験は人を成長させる。一人ではできないこともみんなで力を合わせればできるようになる。人や社会に役立つことが生きる喜びとなる。教育の確信である。この「感動」「協働」「貢献」の創出が、自己有用感や生きる力を育み、村を発展させる力となる。そのために、学校、家庭、地域が協力して温もりと魅力ある挑戦の場を提供していく。

ここに、教育立村の旗を掲げ、「ふるさと関川を愛し、誇り、発展させるひとづくり」を基本理念とした「関川教育構想 2018」を定め、4つの基本方針と14の目標及びその施策例を示す。

1 子どもの生きる力を育む

1 豊かな心と健やかな体の育成

- (1) 人権教育、同和教育、道徳教育の推進
- (2) 感動体験（困難克服体験、貢献活動、芸術鑑賞等）の創出
- (3) 健康の維持増進と体力の向上、食育の推進

2 確かな学力の育成

- (1) 基礎基本の確実な定着
- (2) ICT活用によるアクティブラーニングの推進
- (3) 家庭学習の習慣化

- ・「授業革新5か条」による授業改善
- ・英語検定の受検補助事業の実施
- ・小中学生補充学習「サマースクール」事業の実施

3 世界に誇る生活習慣の確立

- ・小学校低学年「書道科」の導入
- ・合言葉「姿勢正して。1にあいさつ、2に返事。靴をそろえて椅子入れる。箸と鉛筆正しく使う。」の普及と生活習慣の確立
- ・「レベル5のあいさつ」奨励

4 一人一人のニーズに応える特別支援教育の推進

- ・UDLの視点に立った授業等の改善
- ・「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成

5 「“夢”ワクワク」キャリア教育の推進

- ・「キャリア教育推進事業」の推進

II 学校・地域の教育力を高める

1 教職員の指導力の向上

- (1) 管理職及び教職員の学校・学級経営力と教科指導力の向上
- (2) 寄り添い支える温もりのある指導の徹底

・ICT活用授業研修、QU活用研修、教育相談研修等

2 保小中・地域連携の推進

- (1) 保小中の連携促進
- (2) 地域と学校の連携促進

・「教育フォーラム」の開催
・関川村「保小中連携プログラム」の具現化
・小中学生の地域行事への参加
・学校運営協議会・地域学校協働活動の充実

3 教育環境の充実

- (1) きめ細かな指導を行うための人的環境の充実
- (2) 施設・設備の充実

・小中学校教員助手及びICT活用支援員の配置
・関川小中学校教室のエアコン設置

III 安心して学べる環境を整える

1 経済的支援の充実

・給食費補助、小中学生定期券交付
・要保護等就学援助、特別支援教育就学奨励費支給
・奨学金制度の運用

2 教育相談の充実

・適応指導教室の充実

3 支援のネットワーク化

・子ども・若者支援協議会の充実

IV 地域に豊かな学びを創る

1 生涯学習・スポーツの推進

- (1) 「ふるさと学習」の充実
- (2) 生涯学習・スポーツ事業の充実
- (3) 社会教育・スポーツ団体の育成と施設の充実
- (4) 保育・家庭教育の充実
- (5) 青少年の健全育成

・「せきかわ冒険王」の充実
・「村民総読書週間」「村民総スポーツデー」の実施
・「家庭教育学級（ペアレントトレーニング）」の充実
・「関川子どもチャレンジ100」の充実

2 文化財の保護と活用、文化施設の活性

・遺跡調査の実施

3 人材(リーダー)育成

・「せきかわゼミナール」の会員募集

